

新たな世界の幕開け

酒井亮二

日本医療安全学会名誉フェロー

医療安全推進機構理事長

国際医療リスクマネジメント学会理事長

日本社会では医療事故が社会の大問題になってから20年が過ぎました。この期間に、行政、学会、医師会などの各種職能団体、大学病院を含む多数の医療機関において、医療安全推進のキーワードで実に様々な取り組みが展開され、初期のインフラ整備がほぼ完了しました。

時は今、新たな世界への扉を開く時期にあります。これまでに十分に手が付けられなかった世界の医療における大きな課題の1つは、患者安全分野での法や社会制度のありかたの検討です。この大きな課題に対して日本医療安全学会の若い世代が果敢に挑戦していただけることになりました。その活動を通じて患者安全の10年後は飛躍的に促進すると確信しています。

また、過去20年を振り返って、安全の最低の基本インフラがほぼ整えられ、今後はより高度な医療の安全の世界を実現するために、高度な研究組織・高等教育組織が推進役になる、と考えている次第です。そのために、国際医療リスクマネジメント学会を母体として一般社団法人医療安全推進機構(MSPO)という国際団体を開設しました。

病院の安全は単に患者安全だけでは不十分なことは明白です。感染症に対する医療機関の安全対策、大災害に対する医療機関の安全対策なども必要です。そのために、患者安全(patient safety)+感染症安全+災害安全を包括する概念として「医療安全(medical safety)」が存在します。MSPOはこの3本を検討課題としています。

日本医療安全学会と医療安全推進機構という2つの団体のそれぞれの新しい挑戦が、今後の医療安全を飛躍的に向上する、と確信しました。